



## 「ごきぶり」って、どうしていうようになったの

### 「ごきかぶり」が「ごきぶり」になった

あなたは、台所のすみや冷蔵庫の下あたりを、ゴキブリがちょろちょろしているのを見たことがありますか。ゴキブリは、ごみなどにいる病害虫を運ぶ害虫で、人間の生活に悪い影響をあたえるので、念を入れて取り除かなければなりません。

ごきぶりは、もともと「ごきかぶり」といいました。

「ごき」は、「御器」と書き、食器のことを表します。そして、「ぶり」は、「かぶる（かじる）」ということです。つまり、「食器をかじる（もの）」という意味です。

この「ごきかぶり」が変化して、「ごきぶり」といわれるようになったのです。

### ゴキブリが生活できない環境を作る

ゴキブリは、寒い間は活動がにぶいので、冬のうちにほう酸だんごなどをまいて、退治するのが効果的です。

最近、どの家庭にも冷房や暖房などがとりつけられ、1年中、ゴキブリが活動できる環境になっています。

ふだんから、ゴキブリが生活できない環境をつくるように、こころがける必要があります。食べた残り物を出しっぱなしにしないこと、流し台のごみをきちんとかたづけること、たれやにこぼれ、ふきこぼれを残しておかないことなどに注意しましょう。

(監修・田代 脩)

